



先月の総会より会長となりました森田と申します。本来であれば、総会場で会員みなさまに私の所信をお伝えするはずでしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、残念ながら理事に限ったZoomでの総会となりました。そこで今回は私の所信をかいつまんでお話いたします。私たちは日本石材産業協会に所属しています。では協会とは一体何でしょうか？調べてみました。

【協会】ある目的のために集まった会員が協力して組織し、維持していく団体。(広辞林より)

では、石産協の目的とは何でしょうか？それは定款の第3条にあります。

【目的】本会は、石材産業の健全な発展と更なる向上を図ると共に、新たな石文化の創造に努め、もって社会に貢献することを目的とする。

私たち石産協は、石材産業の発展と社会貢献が目的で集まった団体であるということです。

私の所信で柱に置いておりますのが「選択と集中」です。その内容は以下の3つです。

1. 消費者の駆け込み寺になること
2. 行政と業界のパイプ役になること
3. お墓及び石の啓発を行うこと

私たちは個々に仕事をしておりますが、協会は個店ではできないことや社会貢献がテーマになります。

1. 「消費者の駆け込み寺」は具体的には電話相談や各地のお墓なんでも相談がこれに当たります。協会ですから商売につなげるよりも、安心してお墓を建てただけの業界づくりに目を向けて取り組むことが私たちの使命です。

2. 「行政と業界のパイプ役」につきまちは、さまざまなテーマがあります。これには時間がかかることや熟慮しなければならないこともあります。協会としましては決して圧力だけを選ばず、正しいことをすすめるスタンスをこれからも貫いていきます。

3. 「お墓及び石の啓発」は協会では広報活動です。しかし、多大な資金と労力が必要になってきます。できることに予算はつけますが、そのアシストとしては各会員の方々の地元での活動に頼らざるを得ません。

これらをすすめるにあたっては、会員みなさまの協力がなければ何もできません。そこで末端まで声が届く組織を目指します。具体的には各地区長が中心となって行

三代目会長就任 森田浩介氏



う定期的な支部長会議です。さらに支部長が中心となってその後の支部会議、この形を地区担当副会長の元に実施していただきたいのです。距離や時間の問題はZoomなどのオンラインを活用してほしいです。この会議を定例化することにより、末端まで声が届く組織を現実のものとし、建設的な意見が吸い上げられることを期待しています。

会員拡大もみなさまの協力が必要です。当会の強みは「業種の垣根なくつきあえること」「会員のネットワークで仕事生まれること」「信頼できる組織であること」です。私たちの強みは数が増えるほどより大きくなるものと考えております。ぜひ仲間を増やしましょう。

以上が今の私の考えていることです。これから2年間どうぞよろしくお祈りします。

森田浩介ってこんなひと! ◎1970年生まれ ◎仕事場:兵庫県丹波市 ◎行動範囲:興味のあるところならどこでも ◎好きな音楽:エリック・クラプトン、ドナルド・フェイゲン、エド・シーラン、あいみょん ◎好きな映画:ニューシネマパラダイス ◎好きな学問・専攻:数学・化学工学←全く覚えてないけど... ◎好きな場所:好きな人といればどこでも楽しい ◎行きたい外国:トルコ ◎普段身につけていないと落ち着かないもの:タバコ、ノートPC ◎座右の銘:道徳なき経済は罪悪であり 経済なき道徳は寝言である ◎子どものころ、とにかく夢になっていたこと:野球、ギター、鉄男 ◎普段人に教えていない恥ずかしい癖:お酒があると延々と飲んでます。タバコがやめられません。とても気が短いです。せっかちで燃費が悪い運転。◎自分では絶対しないけど、ちょっとあこがれる行動は?:早起きできる人 ◎得意料理:毎朝食べるヨーグルトを自分で作ってます。それ以外の料理はできません。





おおきけいた 神奈川県
大木啓太さん (有)大木石材店

さまざまな形の縁を大切に

当社は高祖父が創業した地域密着の石材店です。私は一般企業に4年勤めた後、父の手伝いを始めました。2代目である祖父は20代に広島で終戦を迎え、復員後戦没者の為の慰霊碑を多数建立しました。石屋の発展に努めつつも、故人を偲ぶ気持ちを石に込めていたことを感じます。墓石を建てる仕事は、故人とご遺族の縁を残すお手伝いをさせていただくことだと思っています。墓じまいが多く取り沙汰され、ソーシャルディスタンスが呼びかけられる昨今ですが、さまざまな形の縁を大切にする心を持った人間でありたいと思います。

この想いを夢のバトンに託して、出来るだけ多くの人に手渡したい。

わたしの夢



あさいゆう 神奈川県
浅井優さん (株)沖セキ

多くの方に喜ばれる商品をご提供したい！

何か商品を購入する際、今では多くの情報があり、選びきれないほどの同じような商品が検索できます。その中で、多くの方に選んでいただき、喜ばれる商品をご提供していきたいと思っています。石材問屋として安全・安心な商品(最近のおすすめはベトナム材)、付加価値としてガラス墓石・スマホアプリ等、今の沖セキだからできることを、これからの沖セキだからできることを探し続けていきたいです。写真は私の大好きな某サッカー選手！一昨年やっと出会えました。長年の夢が叶った瞬間です！

新入会員紹介 会員数:1,162名(2020.6.19現在)

<p>2020年5月19日▶ 入会</p>	<p>北海道</p> <p>合同会社齊藤石材 会員代表: 齊藤孝志 設立: 平成31年1月 業種: 墓石</p>	<p>岩手県</p> <p>(有)ワイケイ商事 会員代表: 今 義博 設立: 平成元年3月 業種: 輸入</p>	<p>山形県</p> <p>(株)生田化研社 山形支店 会員代表: 伊藤秀泰 設立: 昭和27年8月 業種: 関連</p>
<p>茨城県</p> <p>(有)朝井字彫工業 会員代表: 朝井 等 設立: 昭和64年6月 業種: 関連</p>	<p>茨城県</p> <p>(有)稲川石材店 会員代表: 稲川雅士 設立: 昭和20年4月 業種: 加工</p>	<p>埼玉県</p> <p>(有)日本典創(株) 会員代表: 周巧建 設立: 平成28年10月 業種: 建築</p>	<p>愛知県</p> <p>(株)谷一仙 会員代表: 谷口幸雄 設立: 平成15年4月 業種: 建築、輸入、関連</p>
<p>岡山県</p> <p>(有)T2クリエイト 会員代表: 津田豊彰 設立: 平成8年10月 業種: 関連</p>	<p>徳島県</p> <p>(有)大西石材店 会員代表: 大西正起 設立: 昭和38年6月 業種: 墓石</p>	<p>高知県</p> <p>高瀬石材店 会員代表: 高瀬雅士 設立: 昭和45年 業種: 加工、墓石</p>	<p>長崎県</p> <p>中村石材工業 会員代表: 中村彰宏 設立: 大正9年4月 業種: 加工、墓石</p>
<p>長崎県</p> <p>(有)松永石碑店 会員代表: 松永利宣 設立: 昭和15年1月 業種: 加工、墓石</p>	<p>2020年6月19日▶ 入会</p>	<p>埼玉県</p> <p>(有)浦木石材 会員代表: 浦木友徳 設立: 明治 業種: 墓石、建築</p>	<p>石川県</p> <p>(株)山本石材店 会員代表: 山本義樹 設立: 昭和2年 業種: 墓石</p>



第11回定時総会 2020年6月19日(金) エッサム神田ホール(東京・神田)

**全議案を賛成多数で承認し、森田新体制が正式にスタート!
理事・監事ら約80名がオンラインで出席し、投票も!!**

緊急事態宣言が解除され、3週間ほど経っていましたが、みなさまへの二度目のご案内のとおり、理事・監事に就任している会員がオンラインで参集し(オンライン出席78名)、みなさまの議決書(208名)及び委任状(379名)による議決で実施されました(合計665名の出席で、定数580名に達していることから総会は成立)。当日は東京・神田にあるエッサム神田ホールをメイン会場として、Zoom(ビデオ会議システム)を使って全国各地の理事・監事ら約80名をオンラインでつなぎました。各審議事項は、事前の議決書による投票とオンライン出席者によるオンライン投票の合計で決議され、全議案が賛成多数で承認されました。第3号議案では森田新会長が2020年度会長所信を表明し、森田新体制が正式にスタートしました。

議事後の報告連絡事項では、今春の褒章で「藍綬褒章」を受章された当会初代会長である井口健二氏の褒章伝達式が行なわれました。この伝達式は、国による同伝達式が新型コロナウイルスの影響で中止となったため行なわれたもので、この日はエッサム神田ホールにて、森田新会長から井口氏へ褒章と褒状が伝達されました(褒章の経緯についてはP3をご覧ください)。今回は新型コロナウイルスの影響でこのような総会となりましたが、来年は通常どおりの総会が開催できるよう新型コロナの一刻も早い収束を願うばかりです(次回は岡山県内で開催予定)。

最後になりましたが、射場一之前会長におかれましては8年間の会長職、本当にお疲れさまでした。



第11回定時総会の様子

第11回定時総会における議決結果

第1号議案	白票:1	反対:0	賛成:多数
第2号議案	白票:3	反対:0	賛成:多数
第3号議案	白票:3	反対:2	賛成:多数



第11回定時総会の様子(エッサム神田ホール)



パソコンの前に所信を表明する森田新会長



褒章伝達式の様子



司会を務めた湯浅 篤千葉県支部長

らん じゅ 藍綬褒章 受章 井口健二氏

藍綬褒章を胸に付け、当
会設立年である2001
年のワイン(当会贈呈)
を手に持つ井口氏

吉野：早速ですが、今春の藍綬褒章おめでとうございます。井口さんへのインタビューは2017年1月号の石産協通信以来ですね。前回のインタビューでは、設立当時のご苦労についてお聞きしました。

井口：8団体をまとめることの難しさ、そして石産協の定款(目的)第3条を貫くことを話したかな。[*1]

吉野：私の知識不足で申し訳ありませんが、藍綬褒章について調べてみました。[*2] 井口さんがやり通されたことと、この章が称える意味を照らせば、「俺しかいないだろ」ですね。

井口：そんなことはないよ(笑)。

吉野：予感はありましたか？

井口：実は、昨年7月に事務局から申請することを聞かされていました。最初は断りましたが、褒章の趣旨が団体の活動を認めることであり、これを受けることは当会の存在を国に認めてもらうことになることと聞いて、受けることにしました。だから、この褒章は私個人のものではなくて、日本石材産業協会みんなのものだと思います。

吉野：協会のトップとして長くご尽力されてきましたが、これからの石産協リーダーと会員に期待したいことは何ですか？

井口：物事を大きく見ること。個々の利益を優先させないで、業界全体に目を向けることを改めてお願いしたいですね。

吉野：この受章を機に新たな挑戦とか試みたいことはありますか？ 思い切ってひげを剃るとか、...

井口：このひげの歴史は長いので、ちょっと無理かな(笑)。親父が私の若い頃に他界して、社長としてベテラン職人になめられないように始めたのがきっかけかな。

吉野：ひげが無くても、もう立派なリーダーですから。剃っちゃいましょう！(^_^)

[*1] 定款(目的)第3条：「本会は、石材産業の健全な発展と更なる向上を図ると共に、新たな石文化の創造に努め、もって社会に貢献することを目的とする。」

[*2]：藍綬褒章とは、会社経営、各種団体での活動等を通じて、産業の振興、社会福祉の増進等に優れた業績を挙げたものに与えられるもの。



初代会長井口氏と三代目森田新会長



藍綬褒章

【徳島県支部】

徳島県との災害協定締結

2020年6月24日(水) 徳島県庁

徳島県支部では、今年度開催予定の中国・四国全体会議in徳島(開催協議中)の主題として何が望ましいか、再三にわたり話し合い、毎年のように全国各地で起きている自然災害に着目し、我々石材業界人に今できることは何かを探求しました。その折、ここ数十年のうちに発生が予測されている南海トラフなどを震源地とする大規模な地震や地球温暖化に伴う異常気象が顕在化していることにあらためて気付きました。

そこで、行政機関と業界団体が一体となり、防災対策や危機管理体制の構築を進める一環として、徳島県と石産協徳島県支部並びに協会本部の後援体制の下、災害協定(正式には「大規模災害発生時における応急対策業務に関する協定書」)の締結に向け、今年2月から準備を進めて来ました。

当初、単一の石材業界団体と都道府県レベルでの災害協定締結は全国的に事例がなく、県と協議する上で前会長射場氏が主となり大阪府茨木市と石産協本部が締結した事例や災害協定マニュアル等を参考にし、資料を整えるところから始めました。

次に、県へのアプローチですが、徳島県と当支部に交流が無かったので、以前より親交のあった県議会議員の先生に我々の趣旨を説明した上で同行を依頼したところ快諾いただき、担当部局(危機管理環境部)と災害協定締結に向けての協議にスムーズに移行することができました。

この時点では何の問題もなくステップアップして行くものだと思っていたのですが、協定書の条文の修正を繰り返す中、解釈の違いにより、このままの内容では締結は難しいとの回答が返ってきました。さらに、年度末に県庁職員の人事異動が重なって、一旦振り出しに戻り、非常に困惑しましたが、再度、県議会議員の先生や担当部局の方々と試行錯誤した結果、最終段階の政策官より知事に説明するところまで、なんとか漕ぎつけることができました。その後すぐ、知事了承との吉報をいただいたのですが、諸般の手続きや新型コロナウイルスの影響で遅れ、始動から約5ヶ月、ようやく徳島県庁にて災害協定締結を無事完了するにいたりました。これを機に、全国的に同様の広がりを見せることを期待すると共に、ひとつの参考事例にしていただければ徳島県支部としても幸いです。[徳島県支部 岡本 泉]



「秋分の日はお墓参りの日」 ポスター配布開始

「お墓参りの日」は2013年に石産協が申請し、日本記念日協会に制定されました。秋分の日、「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」日です。この尊い風習を無くしてはいけません。さまざまな方にもっと、もっと、知って欲しいです。石産協会員の方で全国あちこちに「秋分の日はお墓参りの日」のポスターを貼って、貼って、貼りまくりましょう! [広報委員会]



今年は全会員に本部から一斉配布ではなく、支部から会員の手元に届くよう、配布方法を変更しました。それにより、支部の活動が活性化し、地元小中学校、寺院、生花店など例年よりも多くの場所に配布がなりました。お手元に届きましたらどんどん拡散してください!そして、SNS配信もお忘れなく。



石工男子おしごと フォト絶賛配布中

普段なかなか見ることのできない採石場での石工のしごと。動きのある、ダイナミックな写真撮れてます!! 石材が商品になってお客さまのお手元に届くまで、多くの時間とたくさんの人の手により、大切に扱われています。自然の恵みである石材がどのように採掘されているのかを説明するのにふさわしい、説得力のある写真です。石材業の仕事をより深く、知っていただくために、WEBサイトやSNS、広告、ポスターなどの印刷物に宣材写真として役立ててください。詳しくは石産協HPに掲載しています。[広報委員会]

新しい教科書がついに完成!!



辞書作りに15年。2013年に松田龍平主演で公開された映画「舟を編む」。辞書編集を通して、言葉の奥深さを教えてくれた作品で、見終わった後、思わず辞書を手に取りページをめくったことを思い出しました。さすがに完成までに15年もかかってはいませんが、お墓ディレクター検定用テキスト「お墓の教科書改訂2020年版」がついに完成いたしました！11月25日(水)に開催される第17回検定試験からこの改訂版がテキストになります。前回より140ページを超える増量。参考の書籍「日本人のお墓」で故・小島宏允先生が書かれているお墓の本質(思想)について再掲載。国産石材・海外石材の現状や、石材施工、産業廃棄物処理についてなど、昨今の消費者ニーズにこたえるために必要な基本的知識を網羅させました。

冒頭で紹介した映画のセリフに「辞書とは、言葉に疑問をもった人が手に取った時に、手助けになるものである」とあります。本教科書は、検定試験だけに使うものではなく、みなさまが「お墓」のことで迷った時、改めて学びたい時、手助けになる一冊です。是非一度、お手にとってページをめくってみてください。※注文書を同封します。[お墓ディレクター委員長 小野純子]

「ウィズコロナ時代を石屋目線で考えてみる」

顧客満足推進委員会

5月にコロナに関する緊急事態宣言が解かれ、移動も可能になりました。しかし我々生活者は何処かでコロナの存在を恐れながら生活をしつつ、急に旅行に行ったり、テーマパークではしゃいだりできる気持ちにはすぐにはなれません。当面、自粛モードで社会は回っていき、狭い地域での生活や行動を余儀なくされます。しかし、反対にこれだけ生活環境の制限を経験した我々は違う気付きを得たとも思います。そんな地元地域で石材店としてどのような経済活動や貢献を行っていくのかを考えさせられます。前号の石産協通信で射場前会長が提言されていた「自助、公助、共助」。この中で「共助」…共に助け合う。地域での活動の大切さが際立ってきました。今回、国や自治体の指示待ちでは我々の生活は保たれなくなることわかりました。このような社会環境下、地元地域で小規模事業者である石材店ができることは何なのか？現代マーケティングの神様・フィリップコトラー氏が提唱する「ニューノーマル」。石材店のニューノーマルな在り方…そんなことを次号からみなさまと一緒に考えていければと思います。

【追伸】CS委員会で、わたしたちと共にウィズコロナ時代の石材店の姿を創造して行きませんか？CS委員会では共に活動していただけるメンバーを募集しています。東京まで遠く来られない方もご安心ください。委員会ではオンラインでの会議も開催しています。ゲスト参加も可能です。ご興味のある方はお気軽にご連絡をお待ちしています。

【顧客満足推進委員会 川上明広】

「祈りの日2020 in 広島」を開催!!

2020年10月10日(土)

PRAY for (ONE)は、2017年に制定された「祈りの日」を広めるためのイベントを初めて東京を離れ、広島で開催します。当初は、3月27日「祈りの日」に開催予定でしたがコロナウイルスの影響で延期となりました。会場は、感染予防の観点から現在調整中です。

PRAY for (ONE)では、祈りを普及する目的でみなさまに「折り鶴」を折ってもらっていますが、広島では、「折り鶴」に特別な意味があります。1945年8月6日に投下された原子爆弾によって被爆し白血病で亡くなった佐々木貞子さん(享年12歳・被爆当時2歳)の回復を願って「折り鶴」が千羽折られました。広島平和記念公園「原爆の子」の像は佐々木貞子さんがモデルです。当日は、ダウン症の天才書家・金澤翔子氏の揮毫、善立寺御住職の新倉典生師記念法要、「平和」をテーマにした朗読劇、折り鶴のワークショップなどのイベントを計画。金澤翔子氏には、「平和」の文字を書いていただき広島市へ寄贈できるように調整中です。中国、四国地区会員のご参加をお待ちしております。(8月中旬詳細決定) [広報委員会 PRAY for(ONE)担当 上野國光]



LINE公式アカウント お友だち1000 プロジェクト 【Vol.3】

はい(^_^)みなさん、毎月14日は何の日？ 答え:isi(14:いし)通信を配信しています。当会情報をgetするには、LINEが便利！社内で、家族で共有しましょう！



2020年度【中止】 建築石材 アドバイザー 試験

建築石材アドバイザー試験は、全国建築石材工業会との業務提携により当会会員が受験できる資格試験です。今年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。来年度は日程が決まり次第ご案内します。

事業案内 7月～9月

ホームページにカレンダーが掲載されています。

▶ 7月16日(木)・オンライン(Zoom)

第3回 正副会長会議

▶ 8月4日(火)・オンライン(Zoom)

第1回 常任理事会

部会・委員会活動 7月～9月

▶ 7月22日(水)・リアル(東京)

輸入卸商部会

▶ 7月28日(火)・オンライン(Zoom)

広報委員会

▶ 7月29日(水)
リアル(東京) & オンライン(Zoom)

関連部会

事務局より

石産協通信に広告チラシの同封(有料)承ります。会員・非会員どなたでもOK！詳しくは申込み書を同封しますので検討ください。(事務局で地道に出荷作業しています。体験コースあり)
*庵治ストーンフェア開催中止により、パンフレットを同封しています。

石産協HP(会員ページ)
ログインID: groupjapan
パスワード: PXC2Rr

石産協通信は
webでも
閲覧できます。



石を愛するコミュニティ

一般社団法人
日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel: 03-3251-7671 Fax: 03-3251-7681
https://www.japan-stone.org/
企画・編集・発行: 広報委員会

編集者: 広報委員 中島 仁

ishiku
石工男子 49Dc
石屋ならではのLINEスタンプ
他にも“使える”LINEスタンプが計40種!

